

黒滝村

木材産業の担い手確保対策事業（伝統工芸継承とものづくり）



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 黒滝村では、木材産業に携わる職人の高齢化及び担い手不足が深刻化し、このままだと消滅していくことが懸念される。受け入れ体制を確立し、担い手を育成することが必要。
- ② 伝統工芸の「くろたき水組木工」「透かし彫り工芸」など、村の伝統工芸の技術継承を行う。
- ③ 黒滝村の産業関連事業者（ものづくり）の連携を密にし、地域全体でブランド化を図る。
- ④ 雇用の場を確保すると共に、村外からの移住者受入体制の強化を図る。

2 取組の概要

令和元年度より農山漁村振興交付金（山村活性化対策）事業を活用し、3年計画で実施している。

- 地域産材を活用した木材産業の掘り起こしを行い、地域内連携ができるように事業者等聞き取り調査を行う。
- 伝統工芸の「くろたき水組木工」「透かし彫り工芸」を中心とした技術継承を行い人材育成を行う。（受講者：若者4名）
- 地域木材（吉野杉・吉野桧）の利用による新たな商品開発。
- 首都圏での展示会及び商談会による市場調査、販路開拓の実施。
- 旧中学校技術室の有効活用を考えると同時に、新たな組織作りに努める。
- 後継者の新たな担い手の募集。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 村内全ての木材関連事業者へ聞き取り調査を行ったことで、人材不足、体調によるモチベーションの低下など、地域全体の課題として考えなければならない。
- 村内事業者のコラボ商品の試作品もでき、地域内連携が少しずつ進んでいる。
- ものづくり後継者の担い手募集により、来年度は地域おこし協力隊を含む2名を新規雇用する。
- 移住者を受け入れるために、空き家の改修等を行い住居の確保に苦労した。今後も住居の確保は課題である。
- 今後コロナ禍の中、どう効果的に取り組むかが重要である。

詳しくは 黒滝村林業建設課 TEL0747-62-2031